

## 問 「処理水は安全」の チラシ回収を

### 答 チラシ回収について再度検討する



おおな みえこ 議員  
大名 美恵子

**問** 文科省は全国の小中学校などに、「放射線副読本2021年改訂版」とともに、経済産業省と復興庁が作成したALPS処理水は「安全」とするチラシを、学校に直接郵送している。

これら記述は「汚染水の海洋放出は安全だ」との一方的な情報を子どもたちに教えることを、学校現場に強制するものではないか。

**答** チラシは内容を確認してから配布すべきかどうかを検討する

そのため、学校保管を指示した。チラシの内容は処理水を身近な問題の一つとして捉えることができ一方、海洋放水について国民の理解が必ずしも十分ではなく、風評対策等も検討されている。直接学校に配布する前に、教育委員会に事前の情報提供や協議する配慮が必要であったと考える。



復興庁処理水チラシ

## 問 ヤングケアラーの 実態は如何に

### 答 支援必要な生徒の発見体制を強化



新政とうかい  
たけべ しんいち 議員  
武部 慎一

**問** 茨城県ではケアラー・ヤングケアラーに関する条例が制定された。ケアラーの状況について文部科学省、厚生労働省が調査報告書を公開。東海村における実態調査はどのよう

に調査されるのか。村で想定している対応について考えを伺う。

最前線で子どもたちを見守る先生の方が必要。ケアラー自身が、ケアラーとは考えていない。支援の手が必要な時期に必要な人に繋がるのは大変難しい。村が行う主体的な取り組みについて考えを伺う。

**答** 茨城県ではケアラー・ヤングケアラーに関する条例が制定された。ケアラーの状況について文部科学省、厚生労働省が調査報告書を公開。東海村における実態調査はどのよう



みんなでヤングケアラーを支える社会を目指して(文部科学省 HP より抜粋)